



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社セリア 上場取引所 東  
 コード番号 2782 URL http://www.seria-group.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 映治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小林 正典 TEL (0584) 89-8858  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	97,742	9.9	8,974	10.4	9,010	8.9	5,815	13.2
27年3月期第3四半期	88,916	9.1	8,128	6.1	8,274	7.5	5,138	11.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	153.35	—
27年3月期第3四半期	135.51	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	56,767	38,137	67.2	1,005.74
27年3月期	51,160	33,247	65.0	876.77

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 38,137百万円 27年3月期 33,247百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,200	9.2	11,000	4.5	11,000	3.3	7,200	7.1	189.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、[添付資料] P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	37,920,000株	27年3月期	37,920,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	121株	27年3月期	121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	37,919,879株	27年3月期3Q	37,919,934株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
(1) 仕入及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、設備投資などを中心に国内需要が底堅く推移する一方で、輸出や生産に新興国経済の減速の影響が見られるなど、景気回復の動きは緩やかなものとなりました。先行きについては、良好な水準を維持している企業収益を背景とした設備投資などを中心に緩やかに回復していくことが期待されますが、国際商品市況の下落や新興国経済の減速を背景に世界経済の不確実性は高まっており、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

小売業界におきましては、前年の駆け込み需要の反動減の影響は徐々に和らぎ、雇用・所得環境の改善が続くもとの、消費者マインドが高まっていくことが期待されますが、価格戦略の巧拙により企業業績にばらつきが見られるようになっており、今後、コスト上昇圧力が継続するもとの企業間格差が拡大する可能性があります。

このような状況のなか当社は、「持続的な出店拡大の基盤を整える」をテーマとして、ファシリティ・採用業務の一部をアウトソーシングするなど、コストバランスを考慮しつつ、機動的な出店と安定した店舗運営を実現する基盤を整備しました。また、POSデータ分析による確実性の高い新商品の導入、欠品対策、持続的な成長の背骨となるブランディングも着実に進めております。

出退店につきましては、採算性を精査しつつ前向きに進め、当第3四半期累計期間において、出店が直営店104店舗、退店が直営店20店舗、F C店12店舗とほぼ計画どおりに進捗し、当四半期末の店舗数は、直営店1,258店、F C店62店の合計1,320店となりました。

直営既存店売上高につきましては、全国的な来店客数増加により見込みを上回り、前年同期比102.3%となりました。

主要経営指標につきましては、売上原価率は、円安の影響により仕入価格は上昇したものの、直営店売上比率が増加したことなどにより、前年同期と変わらず57.7%となりました。また、販売費及び一般管理費については、第1四半期において信用状態が著しく悪化したF C先の売掛債権約79百万円に対して全額を引当処理したこと（売上高に対する比率0.1ポイント）などによる上昇要因はあったものの、既存店売上高が順調に推移したことにより、売上高に対する比率が前年同期と同水準で進捗したため、当第3四半期累計期間の売上高営業利益率は9.2%（前年同期9.1%）となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は977億42百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益は90億10百万円（前年同期比8.9%増）、四半期純利益は58億15百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比56億6百万円増加し、567億67百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が増加したことなどにより40億28百万円増加しました。固定資産は、新規出店に伴い有形固定資産が増加したことなどにより15億78百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前期末比7億16百万円増加し、186億29百万円となりました。流動負債は、買掛金が増加したことなどにより9億75百万円増加しました。固定負債は、長期借入金が減少したことなどにより2億58百万円減少しました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前期末比48億90百万円増加し、381億37百万円となり、自己資本比率は前期末から2.2ポイント上昇し67.2%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、売上高につきましては、直営新店、FC店が想定を下回ったものの、直営既存店が順調に推移したため、概ね計画水準で進捗しております。一方、利益につきましては、直営店売上比率が増加したことなどにより、売上原価率が想定を下回ったことに加え、販売費及び一般管理費についても、直営既存店売上高が順調に推移したことにより売上高に対する比率が想定を下回り、計画水準以上の進捗となっております。

小売業を取り巻く環境は予断を許さないものの、足元までの進捗状況等を勘案し、通期業績予想を修正いたします。

なお、平成27年5月15日に公表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	129,200	10,700	10,700	7,000	184.59
今回修正予想 (B)	129,200	11,000	11,000	7,200	189.87
増減額 (B)－(A)	0	300	300	200	－
増減率 (%)	0.0	2.8	2.8	2.9	－
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	118,336	10,521	10,644	6,720	177.21

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,221	19,201
売掛金	392	387
商品及び製品	10,767	11,729
前払費用	645	675
預け金	2,895	3,912
その他	405	449
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	32,327	36,356
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,738	6,752
その他(純額)	3,772	3,725
有形固定資産合計	9,511	10,477
無形固定資産	203	167
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,826	8,399
その他	1,362	1,524
貸倒引当金	△71	△157
投資その他の資産合計	9,117	9,766
固定資産合計	18,832	20,411
資産合計	51,160	56,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,986	7,338
1年内返済予定の長期借入金	810	548
未払費用	1,874	2,242
未払法人税等	1,876	1,490
賞与引当金	492	258
店舗閉鎖損失引当金	1	10
資産除去債務	13	31
その他	2,531	2,642
流動負債合計	13,586	14,562
固定負債		
長期借入金	893	540
退職給付引当金	155	180
役員退職慰労引当金	117	142
資産除去債務	1,247	1,346
その他	1,911	1,858
固定負債合計	4,326	4,067
負債合計	17,912	18,629

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金	1,419	1,419
利益剰余金	30,524	35,392
自己株式	△0	△0
株主資本合計	33,222	38,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24	47
評価・換算差額等合計	24	47
純資産合計	33,247	38,137
負債純資産合計	51,160	56,767

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	88,916	97,742
売上原価	51,336	56,420
売上総利益	37,579	41,321
販売費及び一般管理費	29,450	32,347
営業利益	8,128	8,974
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	2	3
受取家賃	26	26
違約金収入	—	21
保険解約返戻金	86	—
その他	74	19
営業外収益合計	199	78
営業外費用		
支払利息	29	21
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1	10
保険解約損	8	—
その他	14	11
営業外費用合計	53	42
経常利益	8,274	9,010
特別損失		
減損損失	60	75
特別損失合計	60	75
税引前四半期純利益	8,214	8,934
法人税等	3,075	3,119
四半期純利益	5,138	5,815



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 仕入及び販売の状況

## ① 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品区分	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	55,058	111.6
菓子食品	2,292	93.6
その他	31	184.9
合計	57,382	110.8

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. その他には、消耗品費への振替高等が含まれております。

## ② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を商品区分別、事業部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

## a. 商品区分別売上高

商品区分	売上高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	94,732	110.5
菓子食品	2,945	94.6
その他	64	78.7
合計	97,742	109.9

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. その他には、店舗に設置した自動販売機等の手数料収入等が含まれております。

## b. 事業部門別売上高

事業部門	売上高(百万円)	前年同期比(%)
直営売上高	94,846	110.7
F C 売上高	1,982	87.5
卸売等売上高	251	92.0
海外売上高	662	94.1
合計	97,742	109.9

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 地域別売上高  
(直営売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第3四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	11,385	108.0	154	10	3
関東甲信越地方	28,658	112.3	345	31	5
東海北陸地方	23,060	105.9	335	14	3
関西地方	16,655	114.0	193	23	7
中国四国地方	5,712	120.1	79	16	1
九州沖縄地方	9,374	110.6	152	10	1
合計	94,846	110.7	1,258	104	20

## (FC売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第3四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	416	98.0	11	0	1
関東甲信越地方	109	91.6	10	0	0
東海北陸地方	406	94.0	15	0	1
関西地方	37	86.5	3	0	0
中国四国地方	235	47.0	6	0	10
九州沖縄地方	776	104.3	17	0	0
合計	1,982	87.5	62	0	12

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 地域別の区分は次のとおりであります。

北海道東北地方……………北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越地方……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸地方……………富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地方……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国地方……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州沖縄地方……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県